

様式1 役割分担・方向性を定めた事業

平成 18 年 2 月 自主・自立推進プラン実施状況確認シート

分野・分類	広域連携	担当部門	保健福祉課 福祉グループ
事業名	ホームヘルパー養成事業(2級課程)		

1. 自主・自立推進プランにおける検討結果

住民地域	役割分担				方向性				実施年度						
	各種団体	企業	行政	広域	廃止	縮小	拡充	継続	~16	17	18	19	20	21	22~
内容	利用者の立場からすると利便性が向上します。事務の一本化を図ることができ、講師の確保も容易になります。早期に取り組みを進めます(介護保険計画の第3次見直しに伴って協議することが必要)														

2. 平成 18 年 2 月 現在の実施状況

(から のうち、該当する項目に 印をつけてください。)

実施済	実施に向けて検討中	未検討	変更予定

* は、役割分担・方向性・実施年度の何れかについて、プランの検討結果から変更する予定の場合です。

3. 平成17年度に実施した内容と課題 (予定どおり実施できなかった場合はその理由)

<p><状況把握> 今年8月に2級ホームヘルパー養成研修を広域で実施できそうな近隣社会福祉協議会(帯広市・清水町・新得町・鹿追町)の状況調査を行なった。その結果、帯広市は実施なし(市内に民間ホームヘルパー養成事業者が4社ある)、清水町と新得町はH17年度は実施なし(H18年度は未定)、鹿追町は実施ありの状況であった。</p> <p><変更内容> 当事業を実施している近隣社協が限られていることと、主催者側からすると広域により事務の一本化を図ることができ、講師の確保も容易になりますが、利用者の立場からすると移動方法や移動時間に苦勞することが予想され利用者が制限されることから、広域連携の取り組みは難しい。</p> <p><変更理由> 現在の近隣社会福祉協議会の実施状況では実施しているのは鹿追町社協のみであり、広域連携による事務の効率化は難しい事業である。</p>

4. 今後の方針(関係者協議等)

<p>平成9年度から事業を実施し、17年度修了予定者を含め約300人を養成し、ヘルパーやボランティア活動の人材は確保されてきた。このことから当初の目的は一定果たしたと判断し、平成20年度を目途に受益者負担の適正化や開催頻度の減少などを検討していく。</p>
--